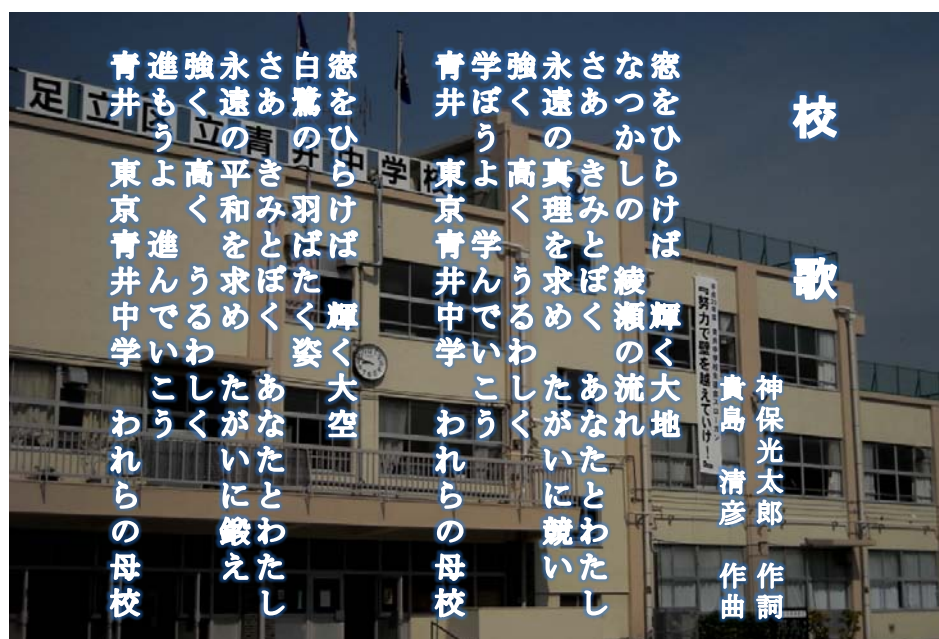




平成23年度

足立区立青井中学校

学 校 要 覧



平成23年度 生徒会スローガン

努力で壁を越えていけ！

足立区立青井中学校

〒121-0012 足立区青井4-19-1

URL <http://www.adachi.ne.jp/users/adaaoi-j/>

職員室 3880-2231 FAX 3880-2232
事務室 3880-2233 校長室 3880-2234

交通 つくばエクスプレス線 青井駅下車 A1出口徒歩5分

1 学校概要

昭和48年 4月1日 足立区立第十一中学校と東島根中学校を母体に設置。

十一中内の仮校舎にて、入学式・始業式を挙げる。

同年 7月	現在地に校舎竣工、給食開始。	平成18年	普通教室エアコン設置
昭和49年	体育館・校歌完成・校舎増築（第2期）	平成19年	校舎耐震補強工事・体育館床改修
昭和52年	プール完成。	平成20年	普通教室床・校門改修
昭和55年	校舎増築（第3期）完了	平成21年	体育館耐震工事・校舎外装改修
昭和62年	給食調理民間委託開始	平成22年	普通教室床改修

2 青井中の教育

(1) 教育目標

みずからを鍛え	みずからを伸ばす生徒
正しく判断し	責任を持つ生徒
人を大切に	社会に尽くす生徒

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 基礎的・基本的学習内容を確実に理解させ、一人一人の生徒の学力向上を図る。また、個に応じた指導の充実や、自ら学ぶ意欲・態度、柔軟な思考力、豊かな想像力・表現力の育成に努める。学習内容の定着のために補習の充実や、繰り返し学習を中心とした家庭学習をすすめる。
- ② 社会性を磨き、規律ある学校生活を確立するために、道徳・特別活動の充実に努め、感動ある学校行事から良好な人間関係を構築する。さらに、自他の生命と人格を尊重する実践力ある生徒の育成を図るとともに、セーフティ教室や、薬物乱用防止教室等による安全指導を徹底する。また、「おいしい給食推進校」として培った食育指導を通じて、心身ともに健康な生徒を育成する。
- ③ 特別支援教育委員会を中心に、学校全体で特別支援教育を推進し、支援を必要とする生徒に対しては個別指導計画などを通じて情報を共有し、個々の教育的ニーズをふまえた指導を行う。
- ④ 職場体験学習等の多様な学習の機会を設定するとともに、全教育活動を通じて、生徒一人一人の個性・能力の伸長を図る。
- ⑤ わが国の文化・伝統を尊重し、国際社会に協力・貢献できる生徒の育成に努めるとともに、生徒の社会性や豊かな人間性をはぐくむため、奉仕活動や自然体験などの充実を図る。
- ⑥ 指導力の向上を図ることが、生徒の学力・自助力の向上につながることをうけとめ、校内研修において“授業力・指導力の向上”をテーマに、教員個々の力量に磨きをかける。
- ⑦ 9年間の学習・生活両面にわたる連続性のある効果的な指導をするために、地域の小学校との教員の相互交流や相互実践を推進する。
- ⑧ 保護者・地域の人々との連携を図り、学校の教育力を向上させるため、学校公開週間や授業参観日を設定し、参観者の意見等を得るとともに、保護者会・学校だより・ホームページ等を通して、学校情報を継続的に公開し、教育活動への理解を深める。
- ⑨ 開かれた学校づくり協議会と連携して保護者、地域の方々と学校関係者評価を行うとともに、保護者・生徒による授業診断を実施し、その意見を教育活動に反映させる。

(3) 指導の重点

ア 各教科

- ① 自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力を伸長するために、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視した教育内容を構成する。校内研修などを活用し、授業観察の機会確保や授業研究を通じて、授業力の向上を図り、指導の効果を高める。
- ② 目標に準拠した評価や指導と評価の一体化を図り、生徒の学習意欲を喚起する。各教科での言語活動を充実させ、確かな学力育成の基礎作りを図る。朝読書においては、定期的に感想文を書かせるなどの表現活動も継続し、読書量や感想文に対する表彰を行い、生徒の意欲を高める。
- ③ 生徒の学習状況や課題を踏まえた、分かる授業を推進する。「テスト計画・成績の記録」や「家庭学習ノート」などを活用し、さらにその内容にまで踏み込み、家庭との連携を図りながら自主的な学習習慣が確立できるよう計画的に指導を行う。

- ② 主題を「共に生きる」と設定し、「ヒト、モノ、コトとの共生」をテーマに取り組み、豊かな人間性や社会性を育成する。食育の全体計画と関連した農作業体験を通じて勤労の大切さを知り、食物や生産者への感謝の心、協調性、社会性を育成する。
- ③ セーフティ教室年3回実施し、被害を自ら防止しようとする意識を育てる。薬物乱用防止教室を取り入れ、健康で安全な生活の確保を目指す。生活習慣病予防等の健康・栄養学習・実習を通じて心身ともに健康な生活習慣の確立を図る。

エ 特別活動

- ① 全体計画や年間指導計画を踏まえた学年・学級経営を充実させ、学級づくりや係活動を通して、生徒の自発的な実践力をはぐくみ、他人への思いやりと協力の精神を育成する。
- ② 生徒会活動の充実を図り、豊かな学校生活創造のための主体的・自治的活動を推進し、自己実現が図られるよう支援する。
- ③ 各行事などの体験を通して、「互いに高め合う、望ましい集団の育成」および個々の「豊かな心」と「健やかな体」の育成を図る。

(4) 特色ある教育活動

ア、学校としての特色ある取組

- ① 地域と保護者、教員、生徒会を中心とした朝の挨拶運動を定期的実施し、適正な言語環境を整えるように努める。
- ② 日常的に補充教室や質問教室を実施し、基礎的・基本的な内容を確実に定着させる。また、年間を通じて継続的な学習をさせるために、家庭学習をより工夫・充実させる。
- ③ 学区域内の町会と連携して救命講習会を実施し、生徒に資格を取得させながら、生命尊重の意識を高めるとともに、ボランティア活動などの社会参加を積極的に推進する。
- ④ 地域小学校と教員相互の授業参観や児童・生徒等の学校行事への参加交流を通して、小・中連携を深める。
- ⑤ 学校行事を通して、集団への所属感や連帯感を深めさせるとともに、鑑賞教室などで文化や芸術に親しんだりする活動を充実させる。
- ⑥ 人権に関する作文・ポスター作成等の指導を通して、人権教育を推進する。
- ⑦ 農作物作り・卒業にむけて“ラン”の栽培活動や、国際理解教育を通じて、心豊かな生徒の育成を図る。

イ、区の施策にかかわる取組

- ① 夏季休業中の「中学生補習講座」を活用し、さらに土曜授業を活用して計画的に反復学習を行うことで、基礎的・基本的な内容の定着をはかる。
- ② 小学校教員と中学校教員との定期的な交流のため、中学校における小学生の体験授業や部活動見学や情報交換会、合同研究授業を行い、校種間の円滑な連携をめざす。
- ③ 体力・運動能力、運動週間等調査を活用し 保健体育の授業改善や体力向上をめざした行事を計画する。また、保健委員会を通じ、健康維持と体力保持を生徒自らの調査や寸劇等を通し啓発する。
- ④ おいしい給食推進校としての経験を生かし、食育リーダーを中心に、望ましい食習慣の形成や食料の生産等に対する生徒の関心と理解を深めさせる。

4 平成23年度 年間行事予定

4月	入学式 保護者会 セーフティ教室 家庭訪問・面談	10月	生徒会選挙 6年生対象体験入学 前期終業式及び後期始業式 学校公開週間(学校説明会) 道徳授業地区公開講座 保護者会 青友祭(文化祭) 連合英語発表会
5月	開校記念日 身体測定・スポーツテスト 離任式 あいさつ週間① 生徒総会 修学旅行	11月	連合演劇発表会 連合駅伝大会 演劇鑑賞教室・芸術鑑賞教室 あいさつ週間② 後期中間考査
6月	運動会 小中交流会 地域清掃① 学校公開週間(学校説明会) 前期中間考査 連合音楽会	12月	教育相談期間 薬物乱用防止教室
7月	職場体験(2年) 教育相談週間 普通救命救急講習会 夏季補習講座	1月	連合席書大会 校外学習(2年)
8月	防災訓練	2月	校外学習(1年) 新入生保護者説明会 学年末考査
9月	あいさつ週間② 地域清掃② セーフティ教室 前期期末考査 魚沼自然教室(1年) 連合陸上大会	3月	校外学習(3年) 卒業式 保護者会 修了式

- ④ “学びのすすめ”（シラバス）を各教科作成し、授業内容の明確化を図り、計画的に進め、学力の定着を図る。さらに授業での実現状況を定期的に評価し、よりよい改善を図る。
- ⑤ 国際社会で活躍できる人間の育成をめざし、全ての教科・領域指導の中でわが国の自然・文化・伝統、及び世界の人々の生活や固有の文化・伝統などを理解させる。
- ⑥ 数学・英語において少人数授業を全学年で実施し、少人数指導の良さを最大限に引き上げるために、副担任講師も活用しながら、個別指導や繰り返し指導を充実させる。
- ⑦ 選択教科は、体験を重視したコースを設定し、生徒一人一人の個性を重視し、その伸長を図る。
- ⑧ 補習・図書館ボランティアなどを活用し、学力定着の働きかけを行う。

○ 国語

基礎学力の定着を図る。目的や場面に応じて、話したり聞いたりする力や、内容を正確に理解する力を身につけさせるとともに国語に対する興味・関心を高める。また、伝える力や、思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにする指導を充実させる。

○ 社会

基礎・基本となる知識の定着を図るとともに、思考力を高め、発表学習や意見交換といった言語活動を活用し、平和で民主的な社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

○ 数学

少人数授業を展開することにより個別指導を充実させ、数学的活動の楽しさを経験することを通して、努力することの大切さを学びとらせるよう指導する。

○ 理科

自然の事物・現象に進んで関わるための観察・実験を充実させ、生徒が主体的に活動できるよう指導にあたる。実験、観察の結果を分析させ、科学的に考察や話し合う活動を通じて解釈を深める。課題解決学習においては、生徒が目的意識をもって取り組み、課題を理解する場면을重視する。

○ 音楽

音楽に対する感性を磨くとともに、楽しさを体験させ、「合わせる」ことを中心に基本的な能力を伸ばし、「聴くこと」「歌うこと」「奏でること」「創ること」の基礎を充実させる。

○ 美術

表現及び鑑賞の幅広い活動を通じ、「見る力・感じる力・深い思考・緻密な技能」を養い、鑑賞や高度な技法を知ることによって審美眼を発達させ、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

○ 保健体育

体力・運動能力、運動週間等調査を活用し、積極的に運動に親しませ、健康の保持増進のための実践と体力の向上を目指す。生涯にわたりスポーツに取り組めるよう、様々な領域の指導を充実させる。

○ 技術・家庭

生活に必要な基礎的な知識や技術を、実践的・体験的な学習活動を通じて身につけさせる。また、実習等の結果を整理したり、生活における課題を解決するために、言葉を用いて考えたりする学習の充実を図る。

○ 英語

英語を自学自習できるようにするために予習・復習のやり方を丁寧に指導するとともに、外国人講師・副担任講師とのTTを活用し、聞くことや音読を有効に取り入れ、言語能力・コミュニケーション能力の基礎を養う。

イ 道徳

- ① 道徳の時間を中心に、全教育活動の中で道徳性の涵養と道徳的実践力の育成を図り、豊かな心と規範意識の育成を推進する。
- ② 道徳教育推進教師が中心となり、新たに「心のノート」を生かした年間計画を作成し、学校内外の体験活動との連携を重視した指導法を工夫して、道徳教育の充実に努める。
- ③ 地域清掃や保育実習、職業体験等の体験的実践の中で、社会の一員としての意識を高めるとともに、公共の福祉と社会生活に貢献しようとする態度をはぐくむ。
- ④ 地域の方による朝礼講話や道徳授業地区公開講座を通して、家庭や地域との連携・協力関係を深める。

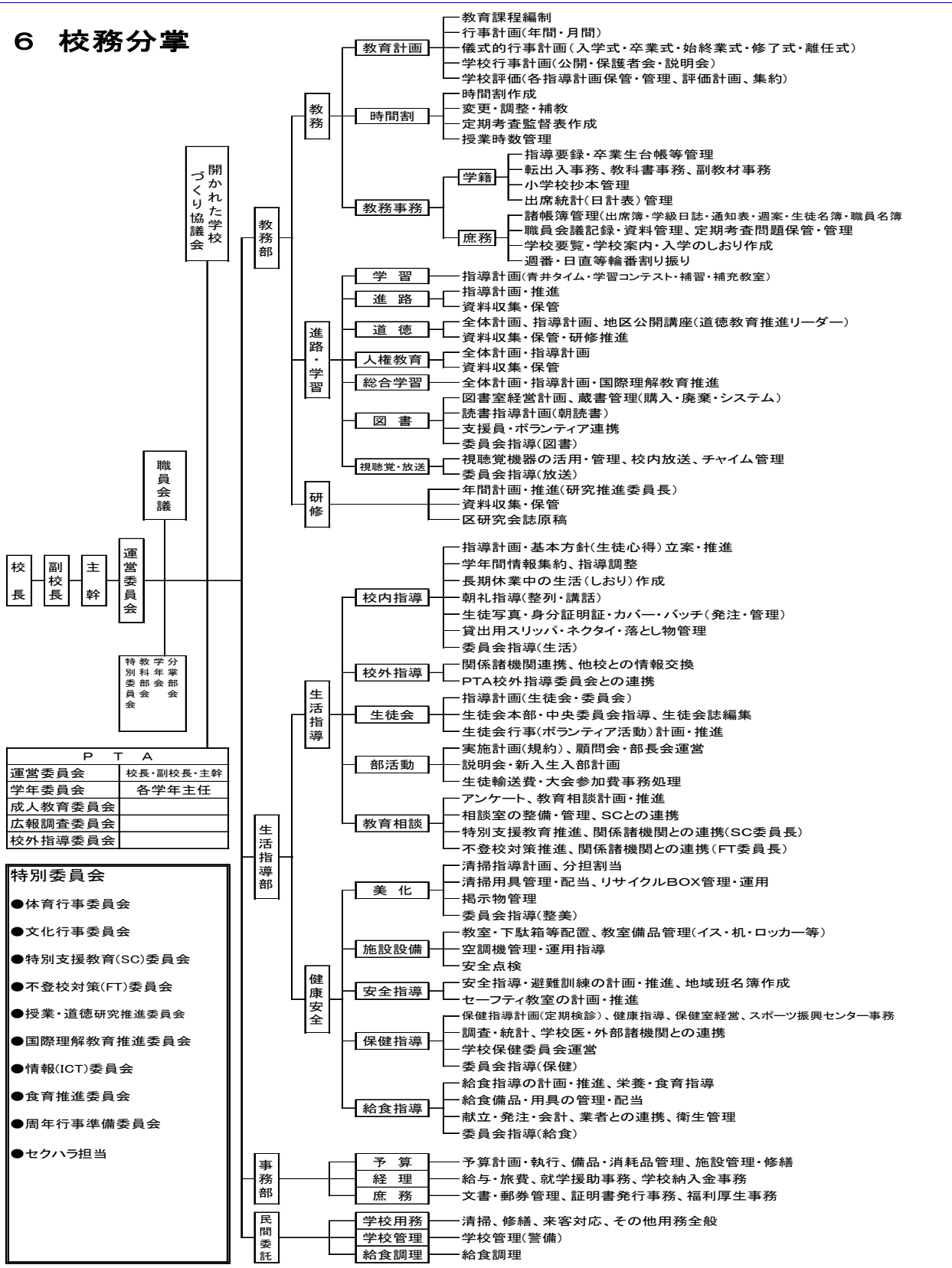
ウ 総合的な学習の時間

- ① 各教科を横断的・総合的に関連させ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題を解決する資質や能力を育成し、よりよく生きる態度や能力を養う。

5 教職員構成

校長	副校長	教科担任										養護教諭	スクールカウンセラー	時間講師	副担任講師	生活指導員	図書館支援員	学校栄養士	事務		民間委託		
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	英語	都職員								臨時職員	用務	学校管理	給食調理	
1	1	2	1	3	2	1	1	2	1	2	1	1	5	2	1	1	1	1	1	2	3	2	5

6 校務分掌



7 生徒数・学級数(5月1日現在)

学 年	1年	2年	3年	計
男 子	37	49	37	123
女 子	44	49	22	115
合 計	81	98	59	238
学 級 数	3	3	2	8

8 部活動一覧

運動部				文化部					
ソ フ ト テ ニ ス	バ ド ミ ン ト ン	野 球	サ ツ カ ー	吹 奏 楽	美 術	演 劇	パ ソ コ ン	調 理 科 学	鉄 道 研 究